



うた ひつじの詩だより

2011, 8, 1
毎月発行 No.125
この裏にはご注文の品と
いっしょにお届けします

-夏の早起きさん達-池上洋子作

7月に台風が通り過ぎた後、しのぎやすい日が続いています。この夏の初めのような、体温より最高気温が高いというような猛暑は、もう戻らないようです。節電でがんばる私達を、自然界も応援してくれているのかもしれない。

ここ数か月、私はなんだか刺繍にとりつかれています。という話をしたら、ある方は刺し子を始めたとのこと。先月号で、まりーさんはランニングステッチにはまっているとのことでした。近所の幼稚園では、有志のお母さんたちの縫い物の会ができたそうです。いろんな場所でチクチクみんなの針が動いている。そう考えるとちょっと楽しくなります。

9月3日(土) 10:00~21:00・4日(日) 10:00~19:00 「ウォルドルフ人形展 in あべの」

ぱふあべの店 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1 ルシアス東館2F

ウォルドルフ人形や、手作りの人形の服・小物など、いろいろと並びます。両日とも10:00~15:00 担当講師、中野久仁子が会場でお待ちしています。

★ミニ講習会「ヨハンナをつくらう！」 3日、4日とも12:00~14:30

〔定員 各回5名、講習費無料、キット代 1300円〕

ヨハンナは身長12cmほどのおくるみ人形です。今回の作品展中だけのスペシャル企画です。どうぞこの機会にご参加ください。

☆お問合せは、ぱふあべの店 (TEL/FAX 06-6634-8140) まで。



梅雨明け頃は雨の恵みで、作物や木の実が一段と成長して次々に熟してきます。それをほっとけないまりーさんは俄然、忙しくなります。梅やあんず、らっきょうなどの仕事に、今年はお近所から拾いに来られるほど豊作のやまもものジュース作りも加わりました。

やまもものは染色では渋木という名で、黄色をはじめ、媒染剤を変えると堅牢な茶系が染まります。



実をとった後の葉と茎、毛糸の500%量で黄色を染めました。黄色の中でもやまもものは主張が強く、藍と合わせると、より深い緑色が得られます。今年の染色チームのカラーサンプルに無事、納まってホッとしました。

まりーさんの染色好きは子どもの時の色水屋さん遊びからでしょうか。そう言えば、スウェーデンでのこと、ドアをたたく音に出てみると、かわいい女の子がふたり、空き瓶の水に花を浮かせたものを両手に持って立っていたのです。一瞬、何の事かと戸惑いましたが、あっと気がつき、笑って「いくらですか」と聞いてあげました。子どもたちが小さなアルバイトをして学校の旅行資金にするという話を小耳にはさんでいたので。うれしそうに、「10KR!」と応えてくれました。その時の透きとおって妖精のような女の子たちの、野の花の色水屋さんをこの季節に想い出します。



ぱたぼん通信

高知の街路市

高知に移り住んで25年、青い空と明るい太陽、心地よい風を日々感じながら、ウォルドルフ人形を作り、伝える活動を数年前からしています。

大好きになった高知の、恵まれた自然が育んだものの中に【街路市】があります。観光ガイドブックで紹介されていたり、西村繁男さんの絵本「にちよういち」にも描かれている高知城近くの日曜市がとて有名です。実はあまり知られていないのですが、その他にも火曜市、木曜市、金曜市もあり高知市内のそれぞれ決まった場所で毎週日に開かれています。市にはおんち



ゃん、おばちゃんのお丹精こめた【地のもの】が並び、のどかでのんびりした風情が感じられます。また、それぞれの市が場所柄を反映してか、特色があるのも面白みがあるところです。

そんな中、これもまた高知らしいと感じる市が新たに加わりました。高知市郊外の池公園で土曜日毎に開かれている【オーガニックマーケット】の事です。公園の中に入ると芝生の中の小道沿いにたくさんのお店が並んでいます。売りの物は有機野菜・米・干物・果物・天日塩・天然酵母パン・お菓子・オーガニックコーヒーetc. 農産物は農薬や化学肥料を使わず、自家生産し

たもの、その季節に生産した物だけが並びます。また食べ物だけでなく、染め・織物・竹細工・木工品・雑貨・刃物とぎまで、こだわりの手づくりの品が並びます。

生産者、製作者が売っているお店なので、店主さんと話しながら品定めをするのも楽しいですし、疲れたら何かチョイスして芝生に座って休憩というのもありです。まだ始まったばかりなので規模は小さいのですが、穴場の魅力満載の市となっています。

自然と調和しながら【地のもの】を育て、身近にあるものを使って暮らしていく・・・普通の人々の暮らしに根付いた市が身近にあることに嬉しくなります。そして私のお人形作りも、高知の市のように、日々の暮らしに溶け込んだ活動になる様にと願っています。

機会があればぜひ一度、高知の【街路市】を覗きにいらして下さい。



川崎典子 (高知市在住)

ペレの学校教務室からお知らせ

「ペレの学校-2012」の開講は来年の3月です。募集の詳細については、10月から始まる「ペレの学校展」の折りにお知らせいたします。どうぞ、今しばらくお待ちください。

★スウェーデンひつじの詩舎は、8月13日(土)から17日(水)まで夏休みをいただきます。

「スペース ペレのあたらしいふく」8月の開店日
1日(月)~12(金) (日曜を除く) 10:00~16:30

ホームページ <http://www.s-hitsuji.co.jp/>

編集担当: 佐藤治子

♥ スウェーデンひつじの詩舎 ♥
スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2

TEL&FAX 045-881-6900,6665

佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708

相談窓口 (金) 寺田裕子 045-881-7035